

PN - JP11291825 A 19991026  
PD - 1999-10-26  
AP - JP19980096209 19980408  
IN - KAWASAKI TERUO;KAWASHIMA YASUOKI;OBARA KIYOHICO  
PA - KASAI KOGYO CO LTD  
TI - STORAGE POCKET FOR VEHICLE  
AB - PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a vehicular storage pocket having a structure of preventing the adhesion or mixing of articles housed in the pocket and easily picking up the housed articles.  
- SOLUTION: A vehicular storage pocket 1 is constructed in such a manner that a lid 3 is provided in a vertical wall 6 in a room so as to use its lower side as a hinge and to be opened to a position roughly perpendicular to the vertical wall 6, and a housing part 4 is arranged between the lid 3 and the vertical wall 6 so as to have an opening 12 formed to insert a card when the lid 3 is opened. The housing part 4 is partitioned by a plurality of partition walls 13 to form a plurality of housing rooms 14, and a side wall part 11 thereof is formed like a fan shape with its lower side as a center.  
I - B60R7/04

**THIS PAGE BLANK (USPTO)**

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平11-291825

(43) 公開日 平成11年(1999)10月26日

(51) Int.Cl.<sup>6</sup>

識別記号

F I

B 6 0 R 7/04

B 6 0 R 7/04

T

審査請求 未請求 請求項の数 5 O L (全 5 頁)

(21) 出願番号 特願平10-96209

(22) 出願日 平成10年(1998)4月8日

(71) 出願人 000124454

河西工業株式会社

神奈川県高座郡寒川町宮山3316番地

(72) 発明者 川崎 輝夫

神奈川県高座郡寒川町宮山3316番地 河西

工業株式会社寒川本社工場内

(72) 発明者 川島 康沖

神奈川県高座郡寒川町宮山3316番地 河西

工業株式会社寒川本社工場内

(72) 発明者 小原 清彦

神奈川県高座郡寒川町宮山3316番地 河西

工業株式会社寒川本社工場内

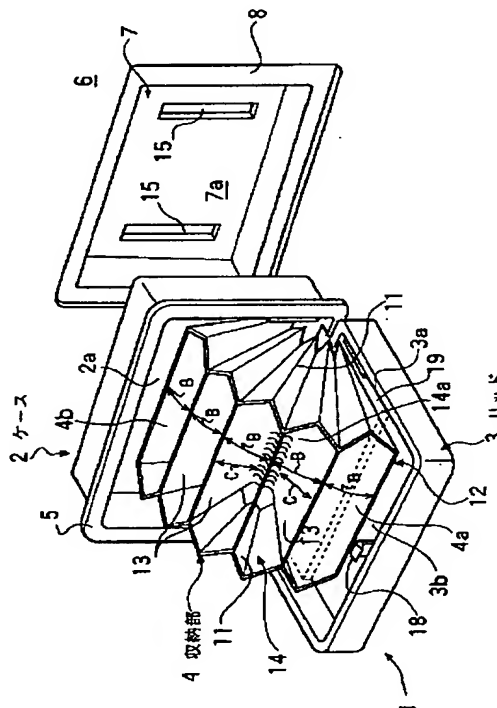
(74) 代理人 弁理士 三好 秀和 (外 8 名)

(54) 【発明の名称】 乗り物用格納式ポケット

(57) 【要約】

【課題】 ポケット内に収納されるもの同士の密着或いは混在を防止し、収納物を摘み易い構造の乗り物用格納式ポケットを提供する。

【解決手段】 室内の縦壁6に、下側をヒンジとして設けられ且つ前記縦壁6に対して略直角の位置まで開成可能なリッド3を設けてなり、該リッド3と前記縦壁6との間には、該リッド3を開成するとカードの抜き差しが可能な開口部12が広がる収納部4が配されてなる乗り物用格納式ポケット1である。前記収納部4は、複数の隔壁13により仕切られることで複数の収納室14を形成してなり、その側壁部11が下側を中心とした扇状に形成されてなる。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 室内の縦壁に、下側をヒンジとして設けられ且つ前記縦壁に対して略直角の位置まで開成可能なリッドを設けてなり、

該リッドと前記縦壁との間には、該リッドを開成するとカードの抜き差しが可能な開口部が広がる収納部が配されてなる乗り物用格納式ポケットであって、

前記収納部は、複数の隔壁により仕切られることで複数の収納室を形成してなり、その側壁部が下側を中心とした扇状に形成されてなることを特徴とする乗り物用格納式ポケット。

【請求項2】 請求項1に記載の乗り物用格納式ポケットであって、

前記収納部は、開口部から底部までの上下高さが、カードの長辺の長さよりも短い寸法よりなることを特徴とする乗り物用格納式ポケット。

【請求項3】 請求項1又は請求項2に記載の乗り物用格納式ポケットであって、

前記縦壁には、前記リッドが該縦壁と略面一になるように、前記収納部が収納される凹部が形成されてなることを特徴とする乗り物用格納式ポケット。

【請求項4】 請求項3に記載の乗り物用格納式ポケットであって、

前記凹部には、前記収納部が格納されたケースが配されてなり、

該ケースの開口縁部には、前記リッドが閉じた際に当接可能で、係止具により前記ケースに対して前記リッドが閉じた位置が保持できることを特徴とする乗り物用格納式ポケット。

【請求項5】 請求項4に記載の乗り物用格納式ポケットであって、

前記収納部の前記リッド側の面には、該リッドの裏面及び前記ケースの開口縁部に対して適宜取り外し自在な保持部材が配されてなることを特徴とする乗り物用格納式ポケット。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、乗り物用格納式ポケット、特にドアトリム、インストルメントパネル、サイドトリム、ラゲージトリム等の室内の縦壁に設けられてなる格納式ポケットに関する。

## 【0002】

【従来の技術】従来の乗り物用格納式ポケットとしては、例えば実開平4-19342号公報に示すように、乗員の身近な箇所に設定されていることから、高速道路等の走行料金や給油料の精算、その他の処理を行う記録媒体としてのカードや各種チケット類などを、収納させる機能をもつ技術が記載されている。

【0003】この公報に記載された技術としては、縦壁に凹部を設け、該凹部の下部を支点として前傾動可能で

凹部を納めることが可能なリッドを回動支持し、リッドと凹部との間には蛇腹部材を取り付けている。

## 【0004】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、かかる従来の乗り物用格納式ポケットでは、リッドと凹部と蛇腹部材とで形成される開口は一つであり、各種のカードや小銭を複数枚収納すると、中で混在することと、カード同士、小銭同士が密着してしまい、目的のカードや小銭を取り出しにくいという課題がある。

【0005】また、該ポケットが、上下に深く且つ下側を支点とする蛇腹状であるので、カードの上辺を摘みづらい。特に、小銭の場合、ポケットの底の方に溜まるので、益々取り出しにくくなり、改善が求められることになる。

【0006】本発明は、このような従来の問題点を考慮してなされたものであり、ポケット内に収納されるもの同士の密着或いは混在を防止し、収納物を摘み易い構造の乗り物用格納式ポケットを提供することを目的とする。

【0007】

【課題を解決するための手段】上記目的を達成するため、請求項1の発明は、室内の縦壁に、下側をヒンジとして設けられ且つ前記縦壁に対して略直角の位置まで開成可能なリッドを設けてなり、該リッドと前記縦壁との間には、該リッドを開成するとカードの抜き差しが可能な開口部が広がる収納部が配されてなる乗り物用格納式ポケットであって、前記収納部は、複数の隔壁により仕切られることで複数の収納室を形成してなり、その側壁部が下側を中心とした扇状に形成されてなることを特徴とする。

【0008】請求項2の発明は、請求項1に記載の乗り物用格納式ポケットであって、前記収納部は、開口部から底部までの上下高さが、カードの長辺の長さよりも短い寸法よりなることを特徴とする。

【0009】請求項3の発明は、請求項1又は請求項2に記載の乗り物用格納式ポケットであって、前記縦壁には、前記リッドが該縦壁と略面一になるように、前記収納部が収納される凹部が形成されてなることを特徴とする。

【0010】請求項4の発明は、請求項3に記載の乗り物用格納式ポケットであって、前記凹部には、前記収納部が格納されたケースが配されてなり、該ケースの開口縁部には、前記リッドが閉じた際に当接可能で、係止具により前記ケースに対して前記リッドが閉じた位置が保持できることを特徴とする。

【0011】請求項5の発明は、請求項4に記載の乗り物用格納式ポケットであって、前記収納部の前記リッド側の面には、該リッドの裏面及び前記ケースの開口縁部に対して適宜取り外し自在な保持部材が配されてなることを特徴とする。

## 【0012】

【発明の効果】請求項1の発明によれば、乗り物用格納式ポケットが、下側をヒンジとして縦壁に対して略直角の位置まで開成可能なリッドと、該リッドを開成するとカードの抜き差しが可能な開口部が広がる収納部とよりなり、該収納部が、複数の隔壁により仕切られる複数の収納室を有し、その側壁部が下側を中心とした扇状に形成されてなるので、カードや小銭などが収納室毎に収納され、ポケット内に収納されるもの同士の密着或いは混在を防止できる。また、リッドを開成すると、収納室が相互に離れるので、指を入れる空間が生じ、収納物を摘み易いことになる。

【0013】請求項2の発明によれば、収納部の開口部から底部までの上下高さが、カードの長辺の長さよりも短い寸法よりなるので、開口部からカードの上辺が露出していることになり、カードを摘み易くなる。

【0014】請求項3の発明によれば、前記縦壁の凹部に収納部が入り込むので、リッドを閉じている状態では、前記リッドが該縦壁と略面一になり、突起物感がなく、乗員がぶつかる可能性も著しく低減する。

【0015】請求項4の発明によれば、前記凹部内に前記収納部が格納されたケースが配され、該ケースの開口縁部に閉じた際のリッドが当接して係止具により前記ケースに対して前記リッドが閉じた位置が保持できるので、収納部内に収納した物品が散乱するようなことがない。

【0016】請求項5の発明によれば、保持部材をリッドの裏面に固持した状態では、リッドを開成すれば、リッドと共に収納部の開口部が開き、カードや小銭を収納できる。また、保持部材をリッドの裏面から外してケースの開口縁部側に固持すれば、リッドを開いても収納部はその位置にあり、リッドの裏面が小銭等の載置可能のテーブルになるので、釣り銭や一時置く必要のものを置く事ができる。

## 【0017】

【発明の実施の形態】図1は、本発明のポケットの一実施形態の全体分解斜視図、図2は図1におけるポケットを支持するドアトリムの正面図、図3は図1と異なる使用状態を示す図1相当図、図4は図2のA-A線に沿った断面図である。

【0018】符号1は、本発明の乗り物用格納式ポケットで、該乗り物用格納式ポケット1は、ケース2と、該ケース2に対して開閉自在なるリッド3と、該ケース2及びリッド3間に介在される収納部4とよりなる。

【0019】前記ケース2は、ABS樹脂などの合成樹脂より形成されてなり、前記収納部4が折り畳まれた状態で格納可能な深さを有すると共にその開口縁部5は、「室内の縦壁」としてのドアトリム6に形成した凹部7の周囲に形成された縁部保持部8内に収まるように形成されてなる。

【0020】前記リッド3は、ABS樹脂などの合成樹脂より前記ケース2の開口縁部5と略同一の大きさに形成されてなり、前記ケース2の下部に形成したヒンジ部9にピン10により、図1に示すように、前記ドアトリム6に対して略直角の位置まで開成回転自在に軸支されてなる。該リッド3のこば部3aは、前記ケース2の開口縁部5に当接可能である。

【0021】前記収納部4は、手前側端部4aが前記リッド3の裏面3bに支持され、奥側端部4bが前記ケース2の奥壁2aに支持され、その側部が蛇腹状の側壁部11、11よりなることで、略方形の開口部12が形成され、該開口部12の蛇腹状の側壁部11、11間を複数の隔壁13、13、・・・により仕切られることで複数の収納室14、14、・・・を形成してなる。また、該収納部4は、薄い透明のポリ塩化ビニル材より形成されてなる。

【0022】前記収納室14を、より詳細に説明すると、一つの収納室14は、両側部に有する外側に折り畳みが可能な蛇腹状の側壁部11と、隔壁13とで略六角状に形成されてなり、底部14aを有する。

【0023】そして、リッド3を開成すると、図示を省略したカードなど収納物の抜き差しが可能な開口部12の隔壁13、13間の寸法Bがそれぞれ広がり、その側壁部11、11が下側を中心とした扇状に形成されてなる。

【0024】また、該収納部4の収納室14は、開口部12から底部14aまでの上下高さCが、カードの長辺の長さよりも短い寸法に形成されてなる。

【0025】尚、ここでいうカードとは、銀行などが発行するキャッシングカードや、石油スタンド等が発行する顧客カード、高速道路公団などが発行するハイウェイカードなど磁気を帯びたカードや、航空券、回数券などのチケットのことである。

【0026】前記ドアトリム6は、凹部7の奥壁7aに形成したスリット15、15に、図4に示す爪16が係止されることで、該凹部7にケース2が支持される。該爪16は、前記スリット15から外すように摺ませれば、スリット15から爪16は外れることができる。

【0027】前記凹部7の縁部保持部8は、前記リッド3が該ドアトリム6と略面一になる深さに形成されてなる。

【0028】前記ケース2の開口縁部5の根元部位の内面には、アンダーカット成形により形成された溝部17が形成され、前記リッド3のこば面3aには、該溝部17に係合する爪状の係止具18が形成されてなる。そして、図4に示すように、リッド3を閉じると係止具18は摺んでケース2の開口縁部5の根元を乗り越え、溝部17に係止具18が係合することで、ケース2に対してリッド3の閉じた位置が確保される。次に、係止具18が摺む力でリッド3を引っ張ることで、該係止具18は、

溝部17から離脱し、図1に示すように、リッド3はケース2に対して直角の開成角度位置に開くことができる。

【0029】符号19は、合成樹脂板よりなる保持部材で、該保持部材19は、収納部4の前記リッド3側の面、即ち手前側端部4aに固持され、該リッド3の裏面3b側に形成された第1係止部20と前記ケース2の開口縁部5の根元に形成された第2係止部21とに係止・取り外し自在である。

【0030】該保持部材19が、第1係止部20に係止した状態では、リッド3を開成すると、該リッド3の開成に伴い、一緒に保持部材19も移動し、該保持部材19に固持された収納部4が、図1に示すように、開く状態になる。また、保持部材19を第2係止部21に係止した状態では、リッド3を開成しても、保持部材19はその位置に保持され、図3に示すように、リッド3の裏面3bが小銭などの置き場所になる。

【0031】以上の構造の乗り物用格納式ポケット1によれば、カードや小銭などが収納部4の収納室14毎に収納することが可能となるので、ポケット1内に収納されるもの同士の密着或いは混在を防止できる。

【0032】また、リッド3を開成すると、収納室14の開口部12が扇状に広がって相互に離れるので、指を入れる空間が生じ、収納物を摘み易いことになる。

【0033】また、該収納部4自体は、薄い透明のポリ塩化ビニル材より形成されてなるので、カードなどを該収納室14に収納した状態で、該カードの記号やマークが透過して見え易くなる。

【0034】また、収納部4の収納室14の開口部12から底部14aまでの上下高さCが、カードの長辺の長さよりも短い寸法よりなるので、開口部12からカードの上辺が露出していることになり、カードを摘み易くなる。

【0035】また、前記ドアトリム6の凹部7内に収納部4が入り込むので、リッド3を閉じている状態では、前記リッド3が該ドアトリム6と略面一になり、突起物感がなく、乗員がぶつかる可能性も著しく低減する。

【0036】また、前記凹部7内に前記収納部4が格納されたケース2が配され、該ケース2の開口縁部5に閉じた際のリッド3が当接して係止具18により前記ケース2に対して前記リッド3が閉じた位置が保持できるので、収納部4内に収納した物品が散乱するようなことがない。

【0037】また、保持部材19をリッド3の裏面3bに固持した状態で、リッド3を開成すれば、リッド3と共に収納部4の開口部12が開き、カードや小銭を収納できる。また、保持部材19をリッド3の裏面3bから外してケース2の開口縁部5の根元側に固持すれば、リッド3を開いても収納部4はその位置にあり、リッド3の裏面3bが小銭等の載置可能なテーブルになるので、釣り銭や一時置く必要のものを置く事ができる。

#### 【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の一実施形態のポケットの全体斜視図である。

【図2】図1におけるポケットを支持するドアトリムの正面図である。

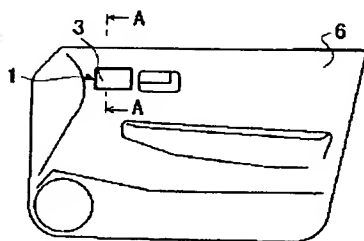
【図3】図1と異なる使用状態を示す図1相当図である。

【図4】図2のA-A線に沿った断面図である。

#### 【符号の説明】

- 1 乗り物用格納式ポケット
- 2 ケース
- 3 リッド
- 3a リッドの裏面
- 4 収納部
- 5 開口縁部
- 6 「室内の縦壁」としてのドアトリム
- 7 凹部
- 11 側壁部
- 12 開口部
- 13 隔壁
- 14 収納室
- 19 保持部材

【図2】





**THIS PAGE BLANK (USPTO)**